

多剤耐性アシネトバクター属の分離状況等に関するアンケート調査結果

調査対象：200床以上のすべての医療機関に回答を依頼し、全国771医療施設から回答を得た。(回答率28.4%)。

調査方法：アンケート調査用紙を平成22年3月16日に対象施設へ発送し、同年4月30日までに回答を得た。

結果：

○回答のあった医療機関における、多剤耐性アシネトバクターの検出状況は以下の通り。

	多剤耐性アシネトバクターの検出された医療機関数 (回答医療機関771か所に占める割合)	多剤耐性アシネトバクターの検出された患者数 / アシネトバクターの検出された患者数	多剤耐性アシネトバクターの検出された検体数 / アシネトバクターの検出された検体数
2007年度	39施設(5.1%)	51/20782	84/32073
2008年度	37施設(4.8%)	81/20394	143/31330
2009年度	49施設(6.4%)	97/19625	331/30609
合計	92施設(11.9%)		

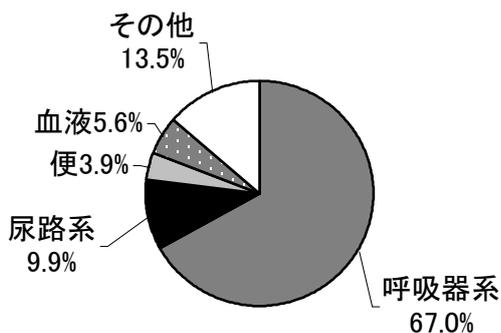


図1a. 医療施設においてアシネトバクター属が分離された臨床材料の種類(平成19～21年度合計)

※ 本研究は、平成21年度及び平成22年度厚生労働科学研究費補助金(新型インフルエンザ等新興・再興感染症研究事業)「新型薬剤耐性菌等に関する研究(H21-新興-一般-001)」(主任研究者:荒川宜親)の事業の一環として実施した。